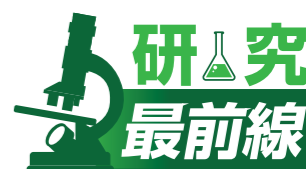


地域を支える 変える 高知大

2024年 創立75周年

次世代地域創造センター地域コーディネーター・講師の梶英樹さん(50)は、社会課題を解決するために行う寄付などの資金調達「ファンドレイジング・マネジメント」を研究する。大学と地域をつなぐコーディネーターも務めており、県内各地を走り回って住民と膝をつき合わせる。これまでの活動を聞いた。

寄付を集め社会課題解決!



共感広げアピールを

ファンドレイジングは社会課題の解決を目的に、資金を集める行為の総称です。古くからあり、奈良の大仏再建で信託が全国から寄付を集めたのも、夏祭りなどのPTAバザーもNPOの会費集めもそう。最近ではクラウドファンディングが注目を引き出し、寄付につなげるといふ役割を果たしている。

■歴史を生かす
今は本山町にある大学サテライトオフィスが私の拠点です。同町の汗見川地区は人口減と高齢化が課題。地域と都市部との交流を図るために、町の歴史を生かした活動を考えています。町のシンボル、白髪山で取れ

次世代地域創造センター 梶英樹講師



集落活動センター汗見川のメンバーと談笑する梶英樹講師(右)＝本山町沢ケ内



多くの町民が訪れた黒潮町のチャリティーショップ(2020年11月、同町佐賀)

チャリティー店で地域貢献 黒潮町住民 新たな交流も

私が研究しているファンドレイジングの手法の一つに「チャリティーショップ」があります。市民から寄付された、また使えぬ物品をボランティアの協力を得て販売し、その収益を公益活動に活用する店舗です。欧米や韓国では広く普及して一千万店以上あります。日本では1000年代後半から全国に広がって現在100店以上あり、全体で年間4・2億円ほどを売り上げています。

チャリティーショップは、不用品リユースを促進し、NPOなどの資金調達、情報発信、市民のボランティア活動の場として期待されています。物品寄付者は廃棄するか一重三文で売るか悩まなかった物を誰かの役に立てられる。買っ方も地域貢献につながり、みんなが公共的な役割を担います。中山間地域における社会実験として、黒潮町社会福祉協議会の協力で、2020年



大阪市の地区イベントに本山町の住民が参加。特産品販売や丸太切り競争が人気だった(2018年9月、同市西区)

もっと増やせる
2000年ごろ欧米で生まれたクラウドファンディングは、ファンドレイジングの代表例とも言えます。日本では14年に年間22億円ほどだった市場規模が、18年には204億円ほどに成長しています。17年の調査では、16年まで5年間あった約3・6万件の出資記録を分析。驚いたのは遠方からの出資が低く、約70%が同一県内からだったという点です。

つまり、支援をより広く集めるためには、地域の活力につなげる必要があると思います。

に同町で2度開きました。寄付品が本当に集まるか不安でしたが、衣類や食器、雑貨などが数百点が集まりました。30代から70代までがボランティア参加。1回平日で十数万円を売り上げ、町で防災活動や子ども食堂を行う団体へ寄付ができました。参加者からは「普段は外に出る機会も少ないから、みんなと顔を合わせる良い機会だった」との声もありました。社協の事務所前には常設スペースを設け、販売を続けていく予定です。

チャリティーショップは環境配慮や障がい者雇用の場、防災拠点など多面的な機能を持っています。また住民同士の交流拠点にもなっています。この仕組みは寄付者、店員、客の役割の入れ替わりもよく起きます。こうした店が本県で増えれば、地域内外の住民の新たな交流を生むのではないのでしょうか。

雑 雑活動中

学業の合間に花の癒やし

花を生ける男子部員(高知大の岡豊キャンパス)



花を生けることもあります。さまざまなバックグラウンドがある部員同士、おしゃべりも楽しみながら和やかに活動しています。(突合菜=医学部4年)

雑 スポット

住宅街の隠れた人気店

うどん処 楓

朝倉キャンパスから自転車ですぐ、立派な門構えで落ち着いた雰囲気「うどん処 楓」。閑静な住宅街の奥にある隠れ家のようなお店です。でも、お年寄りや女性も食べやすい細めの麺は、つるっとして最高なんです。

店主の石川了規さん(44)は元々会社員でしたが脱サラ後の2007年に開業。本場、香川県のうどん店で学び、その経験から高知県民の口に合うカツオのだしを使ったメニューを考案しました。

学生客も多く、部活後のジャージ姿の男子や女子同士の利用も。口コミで知られ、すっかり評判になっています。一番人気はカボチャやナスなど野菜の天ぷらがたくさんつた、ぶっかけうどん「楓おろし(1150円)」。元は期間限定メニューでしたが、客の要望で定番化。使用する野菜は地元の良心市でも仕入れており、地産地消に貢献しています。

一番人気の楓おろし(高知市の「うどん処 楓」)



高知市朝倉南町4の18の8、午前10時～午後3時(ラストオーダーは30分前)、月曜定休、電話088・849・4263。(学生広報スタッフ・山田妃真=人文社会科学部3年)

◆第4火曜日掲載

高知大学 × 高知新聞 共同編集